

(様式 3-3 ②)

住まい・まちづくりに対する提案書(住棟の全体配置計画)

清流とひとを結ぶ 「遊歩道」で集う 豊かなくらし

～あんしん・あたたかさ・
ふれあいのある暮らし～

清流御船川に近接する立地を生かし、御船川の流れをイメージしたゆるやかな遊歩道がコミュニティをつなぎます。基本理念「あんしん」「あたたかさ」「ふれあい」に沿った暮らしが遊歩道沿いに広がります。

あんしん

完全歩車分離の「みんなの遊歩道」歩行者もあんぜん・あんしんな動線計画です。

あたたかさ

みなさまにあたたかさを感じて頂けるよう、熊本県産木材や県産のイグサを内装・外装に十分に採用しました。

ふれあい

歩行者が気軽に通り抜けられる「みんなの遊歩道」には、花壇やあずまやを設置。四季の移ろいを感じながらふれあいを育む、健康的な暮らしの提案いたします。



転回広場は西側園道から移動販売車やゴミ収集車のアクセス、転回ができます。日常は完全歩車分離※としており安全性と利便性に配慮した計画です。(※緊急時は車の通り抜けが可能です。)

- ① 団地全体の配置計画などに関する配慮**
 - 御船川を感じる「みんなの遊歩道」 「みんなの遊歩道」は近接する清流御船川を感じるゆるやかな曲線とし、光と風を感じる解放的な空間としました。
 - 隣りに配慮した配置計画 住棟を2棟とし北側に寄せることで、住戸内の日当りに配慮した明るい室内です。
 - 車の速度を抑制するゆるやかな車路 車路を緩やかな曲線とすることで車の速度を抑制し歩行者の安全に配慮しました。
 - 多用途に対応したオープンスペース ゴミ収集車の転回や移動販売車、引越の車寄としても利用可能なオープンスペースです。災害時、緊急時には東西道路へ車の通り抜けも可能です。また一時的な避難場所として利用ができ「みんなの広場」にはかまどベンチを設置。防災対策もあんしんな計画としています。
- ② 住戸計画のコンセプト**
 - 日当たりのよい全住戸南側リビング 全住戸南側リビングとし、日当たりのよい居住環境を確保しました。
 - 風通しの良い吹抜階段 住戸間を吹抜階段とし北側への圧迫感を軽減。風通しの良いアプローチ空間です。
 - 住戸間の雑音に配慮した界壁と2階床 住戸間の壁、2階床には独自の「遮音界壁」「ALC遮音床」を採用します。
 - ユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線 敷地内を段差のない歩道とし、どなたでも歩きやすい動線計画としました。
 - ユニバーサルデザインに配慮した引戸 玄関をはじめ、住戸内の居室、洗面、トイレの入口は使いやすい安全な引戸を採用しています。
- ③ 入居者や近隣住民との交流やコミュニティに関する配慮**
 - 住民同士や周辺住民との交流の場「みんなの遊歩道」 住民の方々の日常動線である「みんなの遊歩道」は近隣の方々も気軽に通り抜けが出来ることで地域の皆さまの自然な交流をつくります。
 - 入居者の交流の場「みんなの広場」 住棟間には日常的な利用やイベントが出来る「みんなの広場」を設け、多様な世帯の交流を促進します。
 - 復興・再生の象徴「復興瓦」 復興・再生および震災の記憶の象徴として「みんなの遊歩道」に「熊本城瓦のかけら」を入居予定の皆様と一緒に埋め込みイベントを行います。 ※瓦利用プロジェクト参加。(瓦使用申請中。)